

「令和2年度創造的イルミネーション広報プロモーション業務委託」
公募型プロポーザル特定結果

令和2年度創造的イルミネーション広報プロモーション業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託者選定を実施した結果、次のとおり受託候補者を特定しました。

1 件名

令和2年度創造的イルミネーション広報プロモーション業務委託

2 委託内容

令和2年11月下旬から12月下旬に実施する光のイベント「創造的イルミネーション」の認知度を向上させるとともに、市内外の観光客の誘致など広く集客をはかることができるよう、効果的な広報プロモーションを行う。

3 特定事業者

株式会社京急アドエンタープライズ

4 評価結果

次表のとおり

提案者	評価点数	順位
株式会社京急アドエンタープライズ	383.75	1
株式会社 神奈川新聞社	297.50	2
株式会社横浜エージェンシー&コミュニケーションズ	279.25	3
ルーデンス株式会社	255.50	4

5 評価基準・評価委員会開催経過等

(1) 評価基準

別紙のとおり

(2) 開催日時

令和2年8月6日(木) 15時45分～16時05分

(3) 開催場所

市庁舎18階 さくら16

(4) 評価委員の出席状況

委員5名中5名出席

6 問い合わせ先

クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会（窓口：横浜市文化観光局創造都市推進課）

電話 045-671-3868

「令和2年度創造的イルミネーション広報プロモーション業務委託」

提案書評価基準

1 評価方法

- (1) 各評価項目について、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (2) 各評価項目の評価点は、配点をA=100%、B=75%、C=50%、D=25%、E=0%で換算した点数とする。
 (例) 配点10の評価項目をC評価：評価点：10(配点)×0.5(評価)=5
 2の※1については、指定項目を1つ以上満たした場合に2点加算する。なお、共同提案の場合は、代表法人を評価の対象とする。
- (3) A～Eの考え方については「3 評価の視点」に示すとおりとする。
- (4) 評価点が同点となった場合は、評価項目のうち「業務実施方針」の評価点の合計が高い者を受託候補者として特定する。「業務実施方針」の評価点の合計も同点となった場合は、当該者のみを対象に10点満点で総合評価を行い、得点の高い者を受託候補者として特定する。

2 評価項目

本プロポーザルで評価する項目については以下のとおりです。

評価項目		配点
業務実施体制	人員配置や役割分担等の実施体制の妥当性と業務の実現性	5
	ワークライフバランス、障害者雇用、健康経営に関する取組 ※1	2
業務実績	類似業務の実績	5
業務実施方針	(1) 広報計画の効果性・実現性	15
	(2) 日常的なパブリシティ活動業務の効果性・実現性	15
	(3) 広報ツールの制作及び活用の効果性・実現性	10
	(4) 広告掲出業務の効果性・実現性	13
	(5) ホームページ制作・運営業務の効果性・実現性	10
	(6) SNSを活用した情報発信の効果性・実現性	15
	(7) パートナシップ事業との連携広報の効果性・実現性	10
合計		100

3 評価の視点

評価項目		評価				
		A	B	C	D	E
業務実施体制	人員配置や役割分担等の実施体制の妥当性と業務の実現性	十分な実施体制が確保されている	A と C の中間	概ね適切な実施体制が確保されている	C と E の中間	実施体制の確保が十分とはいえない
	ワークライフバランス、障害者雇用、健康経営に関する取組 ※1	次の項目を1つ以上満たした場合に2点加算 ・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定済（従業員 101 人未満の場合のみ） ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定済（従業員 301 人未満の場合のみ） ・次世代育成支援対策推進法による認定（くるみんマーク、プラチなくるみんマーク）を取得済 ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）を取得済 ・よこはまグッドバランス賞の認定を取得 ・青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定を取得 ・障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.2%の達成（従業員 45.5 人以上）、または障害者を1名以上雇用 ・健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証				
業務実績	類似業務実績	十分な能力を有していると思われる実績である		一定の能力を有していると思われる実績である		実績に乏しく、能力に疑問が残る
業務実施方針	(1) 広報計画の策定	目的・目標を的確に理解し、極めて効果的で実現可能である。	A と C の中間	目的・目標を理解し、効果的で実現可能である	C と E の中間	目的・目標を理解しておらず、効果的でなく、実現可能性に乏しい
	(2) 日常的なパブリシティ活動業務	ターゲットが大変明確で、極めて効果的で実現可能である		ターゲットが明確で、効果的で実現可能である		ターゲットが曖昧で、効果的でなく、実現可能性に乏しい
	(3) 広報ツールの制作及び活用	ターゲットが大変明確で、極めて効果的で実現可能である		ターゲットが明確で、効果的で実現可能である		ターゲットが曖昧で、効果的でなく、実現可能性に乏しい
	(4) 広告掲出業務	ターゲットが大変明確で、極めて効果的で実現可能である		ターゲットが明確で、効果的で実現可能である		ターゲットが曖昧で、効果的でなく、実現可能性に乏しい
	(5) ホームページ制作・運営業務	趣旨を的確に理解し、極めて効果的で実現可能である。		趣旨を理解し、効果的で実現可能である。		目的・目標を理解しておらず、効果的でなく、実現可能性に乏しい。
	(6) SNS を活用した情報発信	ターゲットが大変明確で、極めて効果的で実現可能である		ターゲットが明確で、効果的で実現可能である		ターゲットが曖昧で、効果的でなく、実現可能性に乏しい
	(7) パートナシップ事業との連携広報	趣旨を的確に理解し、極めて効果的で実現可能である。		趣旨を理解し、効果的で実現可能である。		目的・目標を理解しておらず、効果的でなく、実現可能性に乏しい。